

## 平成22年度「診療所薬剤部門の現状調査」記載要領

回答締切日 平成22年7月30日（金）

- (1)平成22年6月1日現在又は平成22年6月の1か月のデータをご記入下さい。
- (2)調査項目がグレーに塗りつぶしてある箇所は、有床診療所のみご記入下さい。
- (3)記入が不可能の項目は空欄でも結構です。可能な限りご記入をお願いいたします。
- (4)薬剤部門にデータのない項目については、事務部門等と相談してご記入下さい。
- (5)小数点以下の数値がある項目は、小数点第2位を四捨五入し第1位までご記入下さい。
- (6)その他を選択された場合は、その内容を簡潔にご記入下さい。

この調査に関する問い合わせは、日本病院薬剤師会事務局総務課をお願いいたします。

TEL 03-3406-0485

### I. 経営主体分類（1～8）

該当する番号に○をつけて下さい。

### II. 施設機能分類（1～3）

該当する番号に○をつけて下さい。2に○の場合は、承認又は許可を受けた病床数を、合計及び病床区分毎にご記入下さい。3に○の場合は、分類を具体的にご記入下さい。

### III. 対象患者（1～4）

該当する番号に○をつけて下さい。

### IV. 一般調査（1～46）

#### 1. 薬剤部門職員数

薬剤師数は採用予定者数を含みます。

常勤と非常勤を区別し、非常勤職員数は次に示す式により計算してご記入下さい。

$$\text{非常勤職員数} = \frac{\text{非常勤職員の1週間の実労働勤務時間（複数の場合は合計）}}{\text{常勤職員の1週間の勤務時間数}}$$

薬剤部門の薬剤師で、治験センターなどに出向している場合は、出向者の欄に人数をご記入下さい。兼務の場合は出向割合を計算し、小数点でご記入下さい。なお、薬剤師数欄には出向者も含めた合計をご記入下さい。

#### 2. 平均外来患者数・外来処方せん(院内)

平均外来患者数は、平成22年6月1日～6月30日の外来患者延べ数を、この期間における実働診療日数で除した数をご記入下さい。（平日は1、半日は0.5としてカウントして下さい）。

外来処方せん(院内)

外来処方せん(院内)は、平成22年6月1日～6月30日の1日平均枚数(この期間の実診療数(平日は1、半日は0.5)で除した数)をご記入下さい。

#### 3. 院外処方せん

院外処方せんを発行している施設では、平成22年6月1日～6月30日の1日平均院外処方せん発行枚数(この期間における実診療日数(平日は1、半日は0.5)で除した数)をご記入下さい。

#### 4. 注射薬処方せん

平成22年6月1日～6月30日の1日平均注射薬処方せん枚数(合計を30で除した数)をご記入下さい。

枚数の計算は下記の方法のうち、貴施設に該当する方法で計算してご記入下さい。

- 1枚の処方せんに1日分が記載され1日分を調剤する…これを1枚と計算
- 1枚の処方せんに1回分が記載され1回分を調剤する…これを1枚と計算
- 1枚の処方せんに複数日(7日分など)分が記載され、処方日数分を1回で調剤する……

これを1枚と計算

- 1枚の処方せんに複数日(7日分など)分が記載され、分割して調剤する  
たとえば、7日分を2日分、2日分、3日分に分割して調剤……分割した回数を1枚と計算(例では3枚とする)なお、注射薬処方せんとは1日分または1回分の投与量が個人毎に、また手技(投与方法)も記載しており、患者毎に追跡できる書式のものを指します。

#### 5. 夜間・休日体制

「ON CALL」:自宅待機(当番制など)で必要なときに呼ばれる場合

「その他」:残り番など当直体制ではない業務体制を取っている場合などで、具体的にご記入下さい。

#### 6. 健康診断

健康診断(特定保健診査)に薬剤師が関与している場合に○をつけて下さい。関与している場合は、具体例を参考に、関与している内容についても記入してください。

特定保健指導に薬剤師が関与している場合に○をつけて下さい。関与している場合は、具体例を参考に、関与している内容についても記入してください。

#### 7. ニコチン依存症管理

ニコチン依存症管理(禁煙指導)に薬剤師が関与している場合に、該当する項目に○をつけて下さい。

#### 8. 医療保険 訪問薬剤管理指導

平成22年6月の診療報酬請求件数(レセプト)に基づき、請求件数と請求患者数をご記入下さい。

#### 9. 介護保険 居宅療養管理指導(薬剤師が行なう場合)

平成22年6月の診療報酬請求件数(レセプト)に基づき、請求件数と請求患者数をご記入下さい。

#### 10. 外来化学療法加算請求件数

外来化学療法加算1と外来化学療法加算2のいずれか6月分の合計をご記入下さい。

#### 16. 注射剤混合業務(無菌製剤処理(免疫不全等))

白血病、再生不良性貧血、骨髄異形生成症候群、重症複合型免疫不全症等の患者及び後天性免疫不全症候群の病原体に感染し抗体の陽性反応がある患者であって、無菌治療室管理加算及びHIV感染者療養環境特別加算を算定する、患者と同等の状態にある患者に無菌製剤処理を行った場合の件数を記入して下さい。

#### 17. PETの保有と薬剤師の関与

PETとはPositron Emission Tomographyで、短寿命核種標識薬剤2-デオキシ2-[18F]フルオロ-D-グルコースを用いる診断装置です。薬剤師の関与としてはサイクロトロン運転、PET薬剤合成、品質管理などがあります。

#### 21. 医療安全対策への関与

医療安全管理者とは、病院等管理者の指示のもと、医療安全に専任あるいは専従で取り組む者のこと。

#### 22. 医薬品安全管理責任者

医薬品安全管理責任者とは、病院等管理者の指示のもと、医薬品の安全使用のための業務を行う責任者のこと。

#### 28. 薬剤師採用時の応募状況

平成21年度の採用がない場合であっても過去5年以内に採用があった場合には、採用年度を修正の上、直近のデータをご記入下さい。

#### 31. 薬歴の作成

本調査において、ハイリスク薬とは、貴施設でハイリスク薬として取り扱っている薬剤のこと

です。

### 3 3. 処方鑑査の情報源・情報の参照項目

本調査において、バイタルサインとは、脈拍、呼吸、血圧、体温のことです。

### 3 5. 医薬品の採用

使用制限とは、処方医を限定する、投与日数を限定するなどのことです。

### 3 6. 後発医薬品の採用状況

採用割合は、平成21年度の内服薬、外用薬、注射薬それぞれにおいての

$$\text{採用割合} = \frac{\text{後発医薬品採用品目数}}{\text{採用品目数}} \times 100$$

### 3 9. 診療報酬改定の希望

診療所における保険上の報酬に対して改定してほしい項目についてご記入ください。

### 4 0. 委員会への要望事項

今後、診療所委員会への要望事項あればご記入ください。

(例) 診療所に勤務する薬剤師を対象としたセミナーの実施、日病薬ホームページへ掲示板を設置するなど。

### 4 1. 平均在院患者数

平成22年6月1日から6月30日の毎日午後12時(24時)現在の在院患者数を合計し、30で除した数をご記入下さい。可能な限り病床区分毎にご記入下さい。区分が不明な場合は合計だけで結構です。

### 4 2. 入院処方せん

平成22年6月1日～6月30日の1日平均枚数(合計を30で除した数)をご記入下さい。

### 4 3. 薬剤管理指導料の施設基準に係る届出:

薬剤管理指導料の施設基準に係る届出を、地方社会保険事務局長に届け出ている場合にご記入下さい。また届け出していない場合は、理由を選択またはご記入ください。

### 4 4. 薬剤管理指導料

平成22年6月の診療報酬請求件数(レセプト)に基づき、請求件数をご記下さい。

「薬剤管理指導料1」:救命救急入院料等を算定している患者に対して薬学的管理指導を行うこと。

「薬剤管理指導料2」:特に安全管理が必要ない薬品の投薬または注射されている患者に対して薬学的管理指導を行うこと。(「薬剤管理指導料1」に該当する場合を除く。)

「薬剤管理指導料3」:薬剤管理指導料1及び2の患者以外の患者に対して、薬学的管理指導を行うこと。

### 4 5. 退院時薬剤情報管理指導料

入院時に服薬中の医薬品等について確認、入院中に使用した主な薬剤の名称、副作用の概要に関して手帳に記載した上で、退院時に患者又はその家族等に対して、退院後の薬剤の服用等に関する必要な指導を行うこと。

### 4 6. 後発品使用体制加算

全ての医薬品の採用品目数のうち、後発医薬品の採用品目数の割合が20%以上であるとともに、入院及び外来において後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用を積極的に行っている旨を当該保険医療機関の見やすい場所に掲示していること。

調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

貴重な資料として、有効活用させていただきます。